

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切である	4	4	利用児童の様子や活動の内容に合わせてレイアウトを変更して十分にスペースを確保できるよう心がけております。	利用児童一人当たりの広さは、法令基準を満たしています。活動に応じて席の配置を工夫して、よりよい環境づくりに努めてまいります。
	2	職員の配置数は適切である	8		基準配置以上の配置であり、直接処遇職員はすべて有資格者を配置しております。	
	3	生活空間は、児童にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	3	利用児童の特性に応じた視覚支援や発達に応じた環境設定に努めております。 現在、車椅子の利用児童はいませんが、トイレに行く通路が狭く、実際に段差があるため、安全面に留意しながら支援をおこなっております。	当事業所は、テナントであるために完全なバリアフリーにするのは難しいですが、支援が必要な児童には職員が安全に留意しながら支援をおこなってまいります。
	4	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、児童達の活動に合わせた空間となっている	8		毎日サービス提供後に清掃をおこなっており、心地よく過ごせるよう環境を整えております。また集団活動や個別活動等、その日の活動や児童の様子に合わせて机の配置を変更して空間を整えております。	
	5	必要に応じて、児童が個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっている	8		部屋が3つに分かれているため、その日の利用児童の様子に合わせて個室を利用し、落着いて過ごせるよう配慮しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8		定期的にリフレクション会議をおこない、職員が意見を出し合う機会を設けております。会議の内容は議事録を作成し、情報共有に努めております。	
	7	保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		アンケートのご意見やご要望に関しては、職員間で情報共有し、迅速に対応できるよう心がけております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている	8		業務開始に合わせて、一日の流れや療育内容の確認を職員全員でおこなっております。また、月に1回リフレクション会議を実施し、業務内容や療育の質向上に向けて意見交換をおこなっております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		8	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されている	8		本社配信の動画による社内研修のほか、法定で定められた研修に関しても計画的に実施しております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている		8	支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。	支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。
	12	個々の児童に対してアセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析し上で、児童発達支援計画を作成している	8		児童発達支援計画の作成前に、アセスメントを実施しております。定期的な保護者様との面談により、利用児童の状況や課題を確認し支援計画に反映しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、児童の支援に関わる職員が共通理解の下で、児童の最善の利益を考慮した検討が行われている	8		日頃から利用児童の様子を情報共有する時間を作り、モニタリング前にも改めて職員間で利用児童の成長や課題について話し合っております。児童発達支援計画を作成する際には児童発達支援管理を中心に会議をおこない、どのような支援をおこなうべきか検討をおこなっております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている	8		児童発達支援計画の内容をもとに、各児童の療育プログラムを設定しております。また、支援計画、支援内容をすべての職員に共有するための打ち合わせをおこない、目標に合わせた支援を提供しております。	
	15	児童の適応行動の状況を標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認している	8		標準化されたアセスメントツールを使用し、保護者様のご意見・ご要望・児童の状況をもらすことなく聞き取るよう努めております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、児童の支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8		児童発達支援ガイドラインを踏まえたうえで、保護者様のご意向を取り入れ、個々に合った支援計画を作成しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		児童発達支援計画や、専門的支援実施計画をもとに、チームで立案・役割分担し、協力して支援をおこなっております。その立案に対しては、日々話し合いをもち、改善・よりよい支援提供に努めております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		基本プログラムを軸に、四季に応じた製作やイベント、運動遊び等、個別活動や集団活動を組み合わせながら楽しく意欲的に活動ができるように工夫しております。	
	19	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われている	8		個別活動や社会性を育むため集団活動も組み合わせながら支援計画を作成しております。利用児童の特性に応じて、無理なく参加できるような支援方法を検討しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている	8		児童発達支援計画や、専門的支援実施計画をもとに、チームで立案・役割分担し、協力して支援をおこなっております。その立案に対しては、日々話し合いをもち、改善・よりよい支援提供に努めております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8		記録作成時などに気付きや療育内容についての相談など職員間で話し合いをしております。重要事項については適宜ミーティングを開き、情報共有しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証改善につなげている	8		日々の支援内容は必ず記録に残しております。また、支援をおこなう前に必ず以前の記録に目を通し、様子の詳細や疑問点を職員同士で話し、児童の実態を把握してから支援に臨んでおります。	
	23	定期的にモニタリングを行い放課後等デイサービス計画の見直しが必要を判断し、適切な見直しを行っている	8		定期的にモニタリングをおこない、児童の成長や変化、保護者様のご意向に沿った計画を作成できるよう、見直しをおこなっております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数的組み合わせる支援を行っている	8		利用児童の課題・保護者様のご意向を基にガイドラインの示す活動を組み合わせる支援計画を練り、支援を行うよう努めております。	
関係機関や保護者様との連携	25	児童が自己選択できるような支援の工夫がなされている等、自己決定を育てるための支援を行っている	8		その日おこなう活動を事前に伝え、利用児童がスケジュールを自己決定できる機会を提供できるよう心掛けております。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その児童の状況をよく理解した者が参画している	8		児童発達支援管理者や管理者が参画しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援する体制を整えている	8		必要に応じて、情報共有、相互理解を図り、よりよい支援に繋げられるように努めております。	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、児童の下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8		下校時間や行事など、事前に保護者様からいただいた情報をもとに、送迎の計画を立てております。また、学校とは送迎時や電話などで情報共有をおこなっております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8		就学前から弊社児童発達支援を利用していた児童が多く、当時在籍していた事業所での情報も相談支援専門員より共有していただき、状況把握に努めております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8		現在はまだ対象児童はおりませんが、就労に向けた相談があれば、助言や情報提供をおこない、就労先とも連携をとってまいります。	今後、対象となる児童が卒業する際には、関係機関等へ必要な情報を提供し、移行先での活動に役立てられるよう努めてまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーパズや助言や研修を受ける機会を設けている	8		現在、児童発達支援センターと連携を図る機会がありません。	今後、必要に応じて連携を図っていきたいと思っております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流など外部との活動する機会がある	8		個人情報の関係もあり、活動する機会が実現できていませんが、ご意向を踏まえつつ、必要に応じて今後検討してまいります。	児童の現状や保護者様のご意見等を踏まえて、交流会等の機会を検討してまいります。
	33	〈自立支援〉協議会等へ積極的に参加している	2	6	北九州市自閉症協会主催の後援会に参加し、そこで得た知識を職員にも共有しております。	日程の調整が難しい場合もありますが、自身に必要な研修・講演等に参加できるように努めてまいります。
	34	日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達状況や課題について共通理解を持っている	8		連絡帳を通して療育での様子をお伝えし、療育中に見つかった課題などについて、送迎時や家族支援時に情報共有に努めております。	